

なると環境スクール活動報告書

学 校 名		鳴門市撫養小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○節電・節水	○節電・節水を呼びかけるポスターを掲示し、各学級に呼びかけを行った。 ○節電・節水や環境を守る取り組みについて話し合い、朝会で発表する。 ○電気使用量・水道使用量を示すグラフを児童玄関に掲示した。 ○業間・休み時間・教室移動時にはこまめに電気を消し、電気の無駄遣いをなくすようにした。 ○給食後、バケツに水を溜めて牛乳パックを洗った。	7月 12～1月 通年 通年 通年	環境委員会 環境委員会 環境委員会 全校 全校	
○ゴミのリサイクル	○燃えるゴミ・燃えないゴミのゴミ箱を用意しゴミの分別を徹底した。 ○古紙を再利用しゴミを減らす工夫をした。	通年 通年	全校 全校 環境委員会	
○資源ゴミ回収	○校内・家庭での資源ゴミを回収し、業者に引き取ってもらった。	6・8・10月	全校 PTA	
○環境美化	○毎朝、6年生が3L活動の一環として校庭・玄関の清掃をした。 ○プランターや花壇に花の苗を植えた。 ○学級園に花の苗を植えた。	通年 6・10 12月 9・12月	6年 PTA 全校	
○野菜の栽培活動	○学級園で夏野菜を栽培した。	5～9月	2・4・5年 特別支援学級	
○環境学習	○生活科・社会・理科・総合的な学習などにおいて身近な地域の環境や環境問題について調べたり考えたりして自ら環境に働きかける意欲をもつことができた。	通年	全学年	
○地球環境について考えよう	○総合的な学習の時間にくらしと地球環境について考えた。また、EMの有効性について学習し、丸池やプール清掃などに使用した。	4月～6月	3・5・6年	

成 果

- ・朝会で発表を行ったり、各学級に知らせる活動をしたりして、環境問題について考える機会が増え、自分にできることをしようという意欲が高まった。
- ・低学年においては、生活科や図工科の材料集めの活動で、家での不用品が学習に生かせることを知り、意欲的に家庭にあるものを大切に、学習に生かしていこうとするようになった。
- ・校内・家庭の資源ゴミ回収や・花植えなどの環境美化に多くの保護者の参加・協力があった。資源ゴミ回収には子どもたちも加わり作業を進め、ゴミの分別意識が高まった。
- ・学校便りなどを通して、家庭や地域の意識も高まっていると思う。
- ・毎月の電気・水道使用量をグラフにして掲示させることで、節電や節水に対する意識が高まってきた。また、昨年度の資料と比較することで、目標が明確になり意欲につながった。
- ・「電気・水道の節約」「ごみの減量」「環境美化」などに取り組む記録を掲示すると、視覚化され校内の共通理解を図ることができた。
- ・委員会で取り組みの成果や課題などについて話し合う機会をもつことで、児童が主体的に課題について考え、次の活動にも意欲的に取り組むことができるようになった。

次期計画への課題・問題点

- ・引き続き紙類の無駄遣いに心がけ、分別やりサイクル・減量に努める。
- ・教室内でもゴミの分別の意識が徹底できるような取り組みを増やす。
- ・年間を通して、より節電・節水の意識を継続できるような工夫を行う。

実施状況報告書

○光熱水費使用状況について

- ・毎月ごとの使用量を委員会で調べ、グラフにして掲示を行った。
- ・電気や水道の使用量について調べたことや守って欲しいことをポスターにまとめ、全校に見てもらえるよう玄関に掲示した。



○環境美化について

- ・6学年を中心に朝活動を使って、清掃や挨拶運動を行った。
- ・年に1回、家庭や地域の方々と愛好作業を行った。
- ・年に3回程度、学校や家庭、地域からごみを回収した。



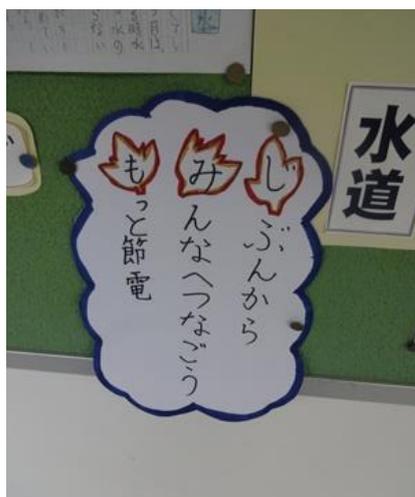
○環境学習について

- ・全学年が再利用可能な紙をリデュースボックスに入れ、印刷用紙やメモ用紙にした。
- ・「友好コスモス運動」について話を聞き、全校で花植えをした。



○校内環境目標の共通理解について

- ・各学級に節電・節水を呼びかける掲示を行った。
- ・環境掲示板に取組の様子を載せ、視覚化を行った。
- ・今月のスタヂくんエコ言葉を掲示した。



・電気・水道の節約に努めます

毎朝、バスタは、ためた水で洗うと節水できるわ。

毎月の電気量と水道量を調べているよ。今月は節約できたかな？

電気

8163

kwh

水道

365

m³

なると環境スクール活動報告書

学校(園)名		鳴門市林崎小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○EM液の有効性	○プール等の清掃に使用した。	6月	高学年	ボランティア川東
○水尾川の浄化活動	○地域の方とのEM団子作りを行い、その後、川に投入し、水質浄化に努めた。	6~7月	4年生	
○環境学習	○クリーンセンターの見学・体験活動	10月	4年生	
○紙ゴミの減量	○古封筒・紙の裏等の再利用や古紙回収を行った。	通年	全校	
○児童会活動	○環境委員会が全校集会でごみの分別方法を説明し、ごみの分別を徹底した。	9月	全校	環境委員会
	○廊下の掲示板の環境コーナーに、活動方針や取り組みの様子や電気・水道の使用量を掲示した。	通年	全校	
	○栽培委員会や各学年で、季節の花を栽培し緑化を推進した。	通年	全校	
○立岩集会所周辺 の美化活動	○地域の人や保護者とともに、清掃活動を行った。	6月 10月	どんぐり 子ども会	
○エコキャップ プルタブ回収 運動	○ペットボトルのキャップを集め、800個でポリオワクチン1人分を送る活動を行った。子どもたちの呼びかけで、活動の活性化につなげた。地域の方からも、たくさんのキャップやプルタブが寄せられ、協力いただいた。	通年	全校	特別支援学級 ありがとう株式会社
○季節の花や野菜の栽培	○各学年、栽培委員会で季節の花や野菜を育てた。	通年	全校	

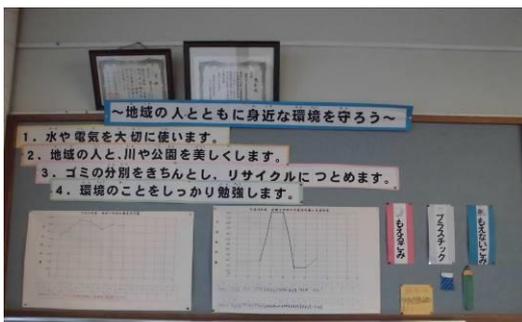
成 果

- EM 団子作り・川への投入, EM 液を使ったプール清掃, 立岩集会所周辺美化活動等には, 地域の多くの方の協力をいただいたことで, 校区の環境美化への意識を高めることができた。
- 教科等で, 環境問題について考える取り組みが定着してきた。特に, 4年生の総合的な学習の時間や地域ボランティアの方とともに, 見学・体験活動に取り組み, 環境保全の大切さを実感することができた。
- 環境委員会が中心となり, 廊下掲示板に電気・水道の使用量のグラフや, 分別を呼びかけるポスターを掲示した。また, 全校児童に, 節電・節水等のエコを呼びかけたことで, 全校でエコの意識が高まった。
- 職員が率先して, 用紙の裏面の使用, 封筒の再利用, 紙ごみの再利用や節電に努めた。

次期計画への課題・問題点

- ここ数年水道使用量は, 昨年度より減っているが, 電気使用量は増加傾向にある。より一層, 節電・節水ができるように, こまめな消灯・止水の確認を徹底していきたい。(今年度は夏にトイレ改修工事があり, 電気使用量は倍になっている。)
- ごみの分別が十分にできていないことがあったので, 環境委員会から呼びかけを行い, どのクラスも分別がきちんに行えるようにしたい。
- 児童が学んだことや考えたことを家庭や地域に発信し, 校区全体で環境を守る活動へ広めていきたい。
- 県環境アドバイザー派遣制度を活用する等, 関係機関との連携を図り, さらに環境教育について意識を高める実践を行いたい。

① 学校全体・児童会の取組



環境掲示コーナー



環境委員会からの呼びかけ



クリーンセンターでの学習・牛乳パックを使ってのわがき作り体験（4年生）

ペットボトル・プラタブの回収



② 地域との連携

季節の花や野菜の栽培



EM だんごづくり（地域の方々に教えていただいて）



水尾川に投入（4年生）

鳴門市黒崎小学校

なると環境スクール活動報告書

学校名		鳴門市黒崎小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
1 活動方針の説明	朝会での節水・節電の呼びかけ 職員会での確認	4月	全校	朝会
2 各教室のゴミの処理	ストックヤードでのゴミの種類の確認	通年	全校	用務員
3 校庭の清掃	堆肥づくりと活用	通年	全校	くすのは清掃
4 資源ゴミのリサイクル	地域子ども会活動 新聞 ダンボール 空き缶等	通年	子ども会	子ども会
5 クリーンセンターの見学	社会科	10月	4年	
6 校舎内外の美化活動	生け花 玄関 プランターでの栽培	通年	婦人会 栽培委員会	
7 清掃用具の管理	清掃用具の点検と整備 用具に紐を付け、フックにかける	通年	環境体育 委員会	
8 ポスターコンクール	3R推進ポスターコンクール 作品制作・出品・掲示	8月	4年	
9 学校近隣環境調査と浄化	水路のゴミ調べ	4月～	4～6年	
	EMダンゴでの浄化	6月～	4～6年	
10 節水	節水カードによる呼びかけ	通年	全校	
11 節電	点灯時間帯の表示 こまめな消灯 使用量のグラフを環境体育委員会が朝会で発表（節水・節電）	通年	全校	
12 大掃除	節目節目の環境美化	学期末	全校	
成 果				
<ul style="list-style-type: none"> ・今年から節水カードを作成・掲示したことで、子どもたちがこれまでよりも水の使いすぎに気をつけるようになった。また、節水カードがあることで、職員も指導がしやすくなった。 ・クリーンセンターの見学により、ゴミの減量や分別に対する意識を高めることができた。 ・職員間では、夏のクーラー、冬のストーブの使いすぎや温度設定に気をつけたり、印刷機を使うときは裏紙を使ったりと、普段できることを意識しながら取り組むことができた。 				

次期計画への課題・問題点

- ・節水・節電に関しては、意識の高まりは感じられたものの、十分な結果が得られていないので、引き続き継続的な指導が必要であると感じる。
- ・全校に向けてゴミ問題について呼びかける機会を設け、ゴミの減量や分別、リサイクル等にも目を向けられるようにしていきたい。

平成28年度における環境学習・環境保全の状況報告書 及び光熱水費の使用状況報告書

(1) 環境学習・環境保全の状況

① 節水・節電



節水カード



点灯時間の表示



朝会での呼びかけ

本年度は、環境体育委員会が節水を呼びかける節水カードを作成し、校舎内にある全ての水道に掲示を行った。また、節水・節電について、全校朝会で呼びかけも行った。子どもも職員も、以前にも増して節水・節電を意識できるようになったと感じる。

② ごみの分別 リサイクル



ごみの分別



廃品回収（子ども会）

教室に設置しているゴミ箱に、ゴミの種類とどのようなものが含まれるかを書いた紙を貼り付け、子どもが自分でも分別ができるようにした。

リサイクル活動については、各子ども会が空き缶やダンボール、新聞紙や古紙などを年間数回程度回収をしている。

③ 環境学習 地域との交流



ゴミ処理の見学
(クリーンセンター)



EMを使ったプール清掃
(黒崎自治会)



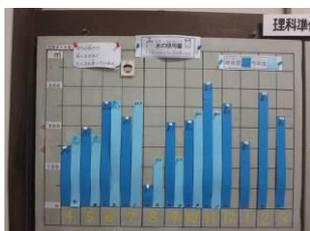
地域の美化活動の見学
(黒崎花街道クラブ)

社会科の学習に関連し、4年生がクリーンセンターを訪れてゴミ処理の様子を見学した。その他にも、牛乳パックを利用した紙すき体験も行った。

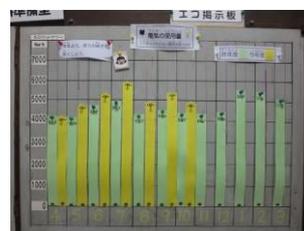
プール清掃では、毎年プールの水を抜く前に、黒崎自治会の方がプールにEMを投入してくださっている。環境にやさしく汚れも落ちるため、水を抜いた後も壁面や床面を磨くのにEMを使用している。

また、地域の美化活動を知る一環として、校区探検を行った学年は、黒崎花街道クラブが管理している「くろさき花広場」を訪れている。自分が住む町には、きれいな花をいっぱい育て、植えてくれている人がいることを知り、地域への愛着をもつことにもつながっている。

(2) 光熱水費の使用状況



水道使用量



電気使用量

昨年度の使用量と今年度の使用量を棒グラフで比較することで、視覚的に使いすぎていないか、意識できるようにしている。掲示場所もよく通る1階廊下にするすることで、気にしている児童も多い。

鳴門市桑島小学校

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市桑島小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ドングリ拾いと自然観察 (森林自然観察会)	○鳴門公園の自然について、2人の講師先生のお話を聞き、実際に見たり触ったりして学習することができた。今後、栽培・観察をし、6年生になった3月に植樹を行う予定である。	11月25日	3年	
○EMによるプール掃除	○市の提供を受けたEMを使用し、自然にやさしいプール掃除を行った。	6~8月	全校	
○異学年班による清掃活動	○異学年班で、朝の活動の時間を利用し、学校敷地内の清掃活動を行った。	通年	全校	
成 果				
<p>○長年取り組んでいる活動を主として活動している。そのため、活動が一年間のみで終わることなく、小学校6年間を見据えた活動となり、子どもたちの環境に対する意識の継続化につながっている。</p> <p>○学年ごとの環境学習内容が一定化しており、系統性を持って学習することができている。</p> <p>○各種団体の協力があり、学校内の学習でとどまることなく、校外へと学習の幅が広がっている。</p>				
次期計画への課題・問題点				
○一年間を通しての学習内容が行事ごとの学習で終わっているところがあり、日々の環境学習が継続してできていない。				

※ 環境学習・環境保全の状況報告書及び光熱水費の使用状況報告書を添付のこと（書式自由）

○環境学習・環境保全の状況

<異学年班による清掃活動>



<EM を使ったのプール掃除>



<森林自然観察会>

・どんぐり拾いと自然観察（3年）



・どんぐり植樹（6年）



鳴門市第一小学校

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市第一小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○水質汚濁を考 える会	○4年生62名が新池川の水質調 査を行い、環境について学習した。	10月	4年	県土整備局 市下水道課の支 援
○クリーンセン ターの見学	○4年生66名がクリーンセンタ ーを見学し、ゴミ処理やリサイク ルについて学習した。	10月	4年	
○資源ゴミのリ サイクル	○保護者・地域の方一体となった 空き缶、新聞紙等のリサイクル活 動を年3回行った。	年3回	校 区 一円	ク リ ン セ ン タ ー
○排出ゴミの減 量	○家庭の空き缶については、毎週 空き缶デーをもうけリサイクルに 努めた。	通年	全 校	
○節電	○教室でもゴミ箱を分け、分別を 行うことで、ゴミ減量に努めた。	通年	全 校	
○テープの巻心 回収	○使っていない教室やトイレ、階 段などの節電に努めた。節電のポ スターを環境委員会の児童が作成 し、節電を呼びかけた。電気使用量 を毎月調べ掲示した。 ○テープの巻心を回収して、ニチ バン ECO プロジェクトに参加し た。	11月	全 校	
成 果				
<p>○資源ゴミ回収では、毎回多くの保護者、地域の方、教職員が参加し、リサイクル活動への意識が向上した。</p> <p>○節電ポスターや電気使用量を目につくところに掲示することや朝会で節電をよびかけることで、児童の意識を高めることができた。</p> <p>○環境についての学習に外部講師を招き実施することで、地域の環境の実態を知り、自然を大切にしていこうとする意識が育った。</p>				
次期計画への課題・問題点				
<p>○学校便りや学校ホームページなどの活用をはかり、活動を家庭や地域に周知する。</p> <p>○こまめに電灯を消したり、蛇口を閉めたりする意識を徹底し、さらに節電・節水に努める。</p>				

なると環境スクール実施状況報告書

1 地域と協力しての古紙、アルミ缶等のリサイクル活動

本校では6月、11月、3月に資源ゴミリサイクル活動を行っている。



- ・アルミ缶、古紙、古着、段ボールなどを保護者だけでなく地域全体に呼びかけて、リサイクル活動に取り組んでいる。
- ・PTA環境委員会を中心に、徳島新聞大津・南浜販売所の方々の協力も得ながら、回収作業を行っている。
- ・収益は、教育環境の整備やPTA活動等に還元している。

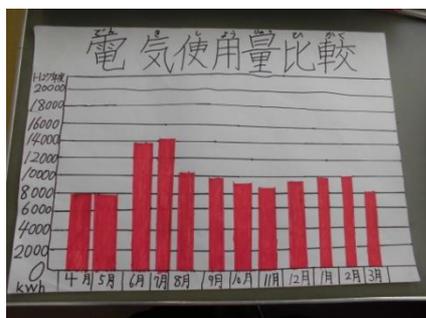
2 校内空き缶デー

- ・毎週火曜日を「校内空き缶デー」とし、各家庭にあるアルミ缶とプルトップを福祉委員会が回収している。
- ・持ち寄られたアルミ缶はやプルトップは袋にまとめて、倉庫に保管し、リサイクルされる。
- ・アルミ缶やプルトップが800キロ集まると車いすに交換して、地域の福祉施設に寄付している。



3 校内環境の整備

節電についての取り組み



- ・廊下や階段、各教室に節電ポスターを掲示したり、環境委員会が見回りをしたりして、節電を呼びかけている。
- ・使用していない教室やトイレ等の電気をこまめに消すように指導し、節電に努めている
- ・毎月の電気使用量を掲示している。

4 環境に関する学習、活動

環境に関する学習を行ったり、地域の方と環境を守る活動を行ったりしている。

<4年生 クリーンセンター見学>



<4年生 水質汚濁を考える会 >



<緑のカーテン>



<全校 なかよし班清掃活動 >



なると環境スクール活動報告書

学校(園)名		鳴門市里浦小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○節電・節水	○学校全体で、節電・節水に努めている。	通年	全校	
○ごみの分別	○環境委員会が中心になって、機会あるごとに分別を呼びかけている。	通年	全校	
○生ごみの堆肥化	○EMぼかしを使って、生ごみの堆肥化を行い、それを使って花づくりをした。	通年	環境委員会 栽培委員会	
○リサイクル活動	○ペットボトルのふたとプルタブを集めている。	通年	全校	
	○不用になった制服を集めている。	通年	P T A	
	○両面印刷や裏紙利用等に努めている。	通年	全職員	
○環境美化	○学校周辺の清掃活動を行った。	5月	全校	
			P T A	
○プール掃除	○EMを使って、プール掃除をした。	6月	全校	里浦地区自治振興会 消防団
○除草・樹木消毒	○運動場の除草及び樹木の消毒をした。	6月～9月	P T A	施設委員会
○EMの投入	○定期的にプールにEMを投入している。			里浦地区自治振興会
○クリーンセンターの学習	○鳴門クリーンセンターの見学を行った。	通年 9月	4年	
○草抜き	○毎月第2金曜日の「クリーンタイム」に、校庭の草抜きをした。	通年	全校	
成 果				
<p>機会あるごとに節電・節水を呼びかけることにより、児童や教職員一人一人が環境問題について関心が高まってきている。学級でも環境問題について話題になることも増え、誰もいない場所の電気を消したり、水が出ている蛇口を閉めたりできる児童が増えている。また、職員も紙の両面印刷や節電・節水を心がけている。</p>				
次期計画への課題・問題点				
<p>ごみの分別の意識が高まってきているので、これからも、ごみ(特に紙ごみ)の減量化に努めていきたい。</p> <p>保護者や地域の方にも、学校での取り組みをホームページ等で発信し、地域の環境に対する意識を高めていきたい。</p>				

実施状況報告書

1 節電

校舎内全てのスイッチの近くに節電シールを貼るだけでなく、教室を空けるときやそうじ時間に廊下やトイレの電気もこまめに消すよう呼びかけたところ、節電効果は上がっている。

環境教育掲示板



2 節水

校舎内の水道の近くに「水を大切にしよう」というポスターを貼り、節水を心がけるように呼びかけている。そうじ時間、ぞうきんはバケツに入った水で洗うようにしている。

漏水のため増えていた水の使用量は、大幅に減っている。

3 ごみの分別とごみ減量

教室では、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「プラスチックごみ」に分別できている。さらに資源として活用できる物とそうでない物を分別してごみを減らす取り組みをしていきたい。

職員室には、裏紙印刷用ボックスや再利用可能封筒ボックス・色画用紙の切れ端ボックスを設け、紙の再利用を推進したところ、積極的に取り組んでくださっている。このことが資源を大切にするだけでなくごみ減量にもつながっている。

分別ごみ箱



4 リサイクル活動

①ペットボトルのふたとプルタブの収集

児童会の呼びかけで、昨年度から始めている。家庭や地域の方にも協力していただき集めている。5月から集めた数は、次の通りである。

ペットボトルのふたの数 17,005個
プルタブの量 56.6kg

集めたキャップ等は、ワクチン代や車いす購入代として役立ててもらおう予定にしている。

②制服のリサイクル

参観日等の機会に保護者に呼びかけて、不用になった制服を集めている。転入生の保護者の方にも喜んでもらっている。

環境委員会の活動



リサイクルに集まった制服



5 学校周辺の清掃活動

6月に地域に出向いて保護者や地域の方と一緒に学校周辺の清掃活動を行った。1月には、「里浦地域とわたしたち」という学習に取り組んだ6年生の児童が、地域の公園の清掃を行う。こうした活動を通して児童の中に自然環境を大切にする意識とともに地域を愛する心も少しずつ育ってきている。

6年生による地域の公園清掃



全校児童での学校周辺の清掃活動



6 さいごに

こうした取り組みがマンネリ化ししないように機会をとらえて呼びかけていくことにより、環境問題への意識をさらに高めていきたい。環境保全に寄与する態度を育むためには、一人一人が自分でできることを心がけて実践する機会を家庭でも設けていきたいと思う

なると環境スクール活動報告書

学校(園)名		鳴門市鳴門東小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○リフレッシュ 瀬戸内	○全校児童で竜宮の磯へ出かけ、地域の方々や保護者と海岸清掃を行った。	5月	全児童 幼児	
○植物の栽培	○学級園やプランターで、各学年の学習内容に応じた植物を栽培し、自然を大切に作る心の育成を図った。	通年	全児童 幼児 環境委員	
○環境学習	○昨年度の学習に引き続き、節電・節水・ごみ減量について学習した。全校朝会で他学年児童にも呼びかけた。社会科ではそれぞれがエコ宣言を行い、各家庭で呼びかけや行動の実施につなげた。	通年		
○ボランティア 清掃	○始業前に自主的に清掃を行っている。	通年	3～6年	
○アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	○児童・保護者・教職員・地域の方々によるアルミ缶・ペットボトルキャップの回収を行っている。	通年	全児童 保護者 教職員	
○ごみのリサイクル	○ごみの分別を徹底し、古紙利用に努めている。	通年	全児童 教職員	
○節電	○休み時間や清掃時間など、使わない時間は電灯を消し、節電に努めている。	通年	全児童 教職員	
○節水	○歯磨きはコップを使ったり蛇口がきちんと閉まっているかを確認したりして、節水に努めている。	通年	全児童 教職員	
成 果				
<p>節電や節水への意識が高まり、教室やホールの照明を必要なときに必要な箇所だけつけることや、手洗い・歯磨きのときに水を止めることが定着した。各学年の教室に雑紙入れを設けて計算用紙に利用したり、家庭から古紙回収を呼びかけたりするなど、古紙の再利用やリサイクルへの意欲が高まっており、実践につながっている。リフレッシュ瀬戸内では、保護者や地域の方と共に海岸清掃を行った。たくさんのごみを見て、自分たちの地域の自然を自分たちで守るという意識が身についた。また、漁協の方の協力でヒラメの稚魚を見せていただき、生物を守る観点からも環境保護の大切さを学習することができた。</p>				

次期計画への課題・問題点

保護者・地域への発信をもっと広げ深めていく必要がある。
職員の間でも、さらに節電・節水の意識を高めて定着から徹底へと移行していく必要がある。

環境学習・環境保全の状況報告書及び光熱水費の使用報告書

1 環境学習・環境保全の状況報告

(1) リフレッシュ瀬戸内

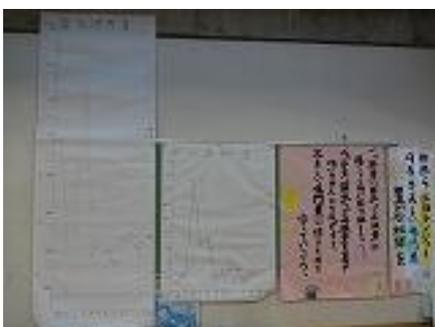
2016年5月に、全幼児・児童が竜宮の磯に出かけ、市役所の方や地域の方々といっしょに海岸の清掃活動を行った。海岸で清掃の仕方や環境を守ることの大切さについての話を聞いた後、仲良し班（異学年グループ）に分かれて、担当班の教師と共に清掃活動に取り組んだ。

自分たちの地域の海岸を美しくしようと、友達と協力して一生懸命に働き、たくさんのゴミを集めた。燃えるゴミと燃えないゴミを意識して分別することもできた。子どもたちは、毎年この活動を楽しみにしており、美しい鳴門の海を地域の方々といっしょに守っていこうとする意欲が高まっている。



(2) エコレンジャー活動

4年生児童が環境学習を行い、「エコレンジャー」として、朝会で全校児童に節電・節水・ごみ減量をよびかけた。また、毎月の電気使用量と水道料金を昨年度と比較してグラフに表し、ホールに掲示した。晴れの日には、トイレやホールの電灯をつけないこと、教室の4つの電灯スイッチの必要な所だけつけることが徹底できた。



(3) 古紙の利用と資源ゴミ回収

古紙を利用したりリサイクルしたりできるように、職員室や教室に分別して置く場所を決めている。裏紙を利用して、教職員が文書を印刷したり、児童がメモをとったりすること

が定着している。ポスターの裏も模造紙や画用紙の代わりとして掲示物に使用している。画用紙や色紙の切れ端もごみ箱に捨てずに、封筒に入れて古紙として回収してもらっている。保護者や地域の方の協力をいただき、アルミ缶やペットボトルキャップや新聞紙の回収も行っている。



(4) 朝のボランティア清掃

毎朝、高学年が中心となって、校庭やホールのボランティア清掃を行っている。草取りをしたり落ち葉を集めたりすることを通して、自分たちの環境をよくしていこうという気持ちが高まっている。季節によって変わる自然の変化に気づく豊かな感性を育てることにもつながっている。



鳴門市鳴門西小学校

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市鳴門西小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○生ゴミのリサイクル	○EM を使って給食の残食・生ゴミの堆肥化を行い、花壇等に活用した。 ○ゴミの分別を徹底して行った。	通年	環境委員会・全校	
○ゴーヤの植え付け・棚作り	○ゴーヤの植え付けを行い、グリーンカーテンを作って温度上昇を抑えた。	5月～9月	4年	NPO 法人ボランティア鳴門西
○EM 活性液づくり	○EM 活性液をつくり、プール清掃などに利用した。	6月	5年	NPO 法人ボランティア鳴門西
○海浜清掃	○近くの海岸を清掃し、次の日に1・2年生が海辺遊びを行った。	7月	5年 1・2年	老人会
○クリーンセンター見学	○クリーンセンターの見学を通して、ゴミの処理やリサイクルについて学習した。	10月	4年	
○ウチノ海公園での緑化活動	○4年生がウチノ海公園に花の苗を植え、緑化活動を行った。	10月	4年	徳島県都市計画課老人会・婦人会・NPO 法人ボランティア鳴門西
○節電・節水	○環境委員会が全校児童に呼びかけることにより、節電・節水に取り組むことができている。	通年	全校	西

成 果

低学年では、花や野菜の栽培活動を通して、自然に親しみながら身近な自然環境について考えることができた。中学年ではゴーヤを育てたり、ウチノ海公園での緑化活動に参加したりすることで、環境についての知識を高めることができた。高学年では、海浜清掃やEM活性液を生活の向上に生かす活動を行うことができた。全学年において、発達段階に応じた環境学習ができ、環境に対する意識が向上してきている。

また、環境委員会が中心となって給食から出る生ゴミの減量を行い、堆肥づくりに取り組んでいる。作った堆肥を学校園「鳴西ファームぐんぐん畑」に埋め、栽培活動に役立てることができた。

次期計画への課題・問題点

ゴミの分別は意識してできるようになってきているが、ゴミを減量しようという意識は低いように感じる。今後、少しでもゴミを減らすための方法を子どもたちと共に考え、取り組んでいきたい。

電気・水道の無駄な使用はかなり少なくなってきていると思われるが、さらに節電・節水に努めるよう効果的な啓発の仕方を考えていきたい。

学校での取り組みをホームページ等で保護者や地域の方に発信し、地域の環境に対する意識を高めていきたい。

実施状況報告書

1 環境委員会の活動

環境委員会を中心に、EMを使って給食の残飯・生ゴミの堆肥化を行い、学校園等に活用している。全校児童に「ゴミの減量」「節水」「節電」「環境美化」を呼びかけている。



2 学校園「鳴西ファームぐんぐん畑」での栽培活動

作った堆肥を鳴西ファームぐんぐん畑に埋め、野菜の栽培活動を行った。



3 ゴーヤの植え付け・棚作り

NPO法人ボランティア鳴門西の協力を得て、4年生がゴーヤの苗を植え、グリーンカーテンを作って温度上昇を抑えている。



4 EM液づくり

NPO法人ボランティア鳴門西の方々の指導のもと、5年生が米のとぎ汁使ってEM液を作り、しばらくねかせた後、5・6年生のプール清掃で活用した。



6 海浜清掃・海辺遊び

近くの海岸を老人会の方々と一緒に5年生が清掃し、次の日に1・2年生が海辺遊びを行った。

(海浜清掃)



(1・2年生の海辺遊び)



7 クリーンセンターの見学

4年生がクリーンセンターを見学し、係の方へインタビューをして、センターの役割を知るとともに、自分たちにできることを考えた。



8 ウチノ海公園での緑化活動

4年生がウチノ海公園に花の苗を植える活動を行った。



9 資源ゴミの回収

P T A環境委員会が年4回、校区の資源ゴミ回収を行っている。児童も多数参加し、保護者と協力して活動している。



なると環境スクール活動報告書

学 校 名		鳴門市明神小学校		
活 動 実 績				
項目	実 施 内 容	実施時期	対 象	備 考
○EM液活用	○芝さんをお招きし、EM液やEM団子の作り方を教わり、EM液を使用したプール清掃やトイレ清掃を行った。	5月 6月	5年 6年	芝商事
○資源ごみ回収	○資源ゴミ回収をPTA、地域、学校で行い、資源保護に努めた。	8月	全校	徳島新聞瀬戸専売所
○緑のカーテン	○ゴーヤのカーテンづくりを通して、地球温暖化について理解し、地球環境にやさしい生活を考えた。	5月 9月	5年	
○学校周辺の清掃作業	○小学校周辺の公園をはじめ、地域の清掃をし、環境美化に努めるとともに地域を大切にする意識を育てる。	10月	6年	
○節電	○学校全体で、電気使用量を減らすようにしている。	通年	全校	
○節水	○学校全体で、水道使用量を減らすようにしている。	通年	全校	
成 果				
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの実践活動を通して、環境に対する興味関心が高まっている。 ・5年生が総合学習で、環境問題で取り組んだことを、全体にポスターで知らせることができた。 				
次期計画への課題・問題点				
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、節水・節電の面で十分に成果をあげられなかったため、今年は一層全校で取り組んだ。そのため、昨年よりも節水・節電することができた。 				

実施状況報告書

1. ゴーヤの植え付け 緑のカーテン作り



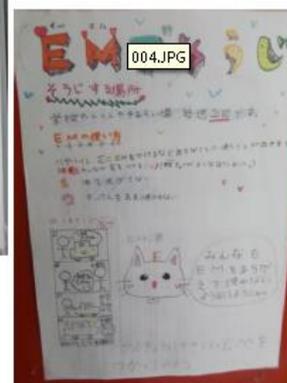
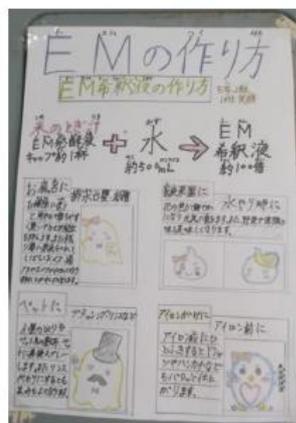
2. EM液の活用

- ① 5月末、5年生が芝商事さんの指導のもと、プールやトイレ清掃等に使用するEM液を作りました。
- ② EM液を活用し、5年生、6年生がプール清掃をしました。



3. 5年生が総合学習で環境学習

EM液の作り方や活用方法について自分たちでできることや考えたことをミニポスターにして校内に掲示して呼びかけました。



なると環境スクール活動報告書

学校(園)名		鳴門市瀬戸小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
・ 目標の達成	・ 全校集会で、「物を大切に使うこと」「リサイクルの大切さ」について児童に説明をした。	4月	全児童	
・ 動物との関わり	・ 全児童が、日替わりで担当し、花壇の水やり、ウサギの世話をを行った。	通年	全児童	
・ 愛校活動	・ 月1回、校舎内外の清掃活動を、異学年集団で行った。	通年	全児童	
・ EM 活性化液	・ 米のとぎ汁を持参し、EM 菌を培養し、プール清掃を行った。	6月	全児童	
・ ごみの分別	・ 各教室に分別用のごみ箱を設置し、分別を徹底した。	通年	全児童 教職員	
・ リサイクル	・ ペットボトルのキャップを集め、市社会福祉協議会に依頼し、世界の子どもたちにポリオワクチンを贈るために役立てた。	通年	全児童 保護者 地域の方々	
	・ 使用済みの用紙で、裏面が再利用できる用紙は、再活用した。	通年	教職員	
	・ 使用済みの紙や段ボール・新聞紙は、リサイクル業者に依頼し回収してもらった。	通年	教職員	
・ 節電	・ 使っていない教室やトイレの照明器具・テレビの待機電源をこまめに切った。			
・ 節水	・ 前年度の毎月水使用量と比べながら、使用量を抑えるようにした。	通年	全児童	
・ 環境学習	・ 毎月の電気・水の使用量をグラフ化し環境コーナーに掲示した。	通年	6年生	
成 果				
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別やリサイクル、ごみ問題に対する関心が高まった。また、家庭でも分別リサイクルをしようとする意欲が高まった。 ・ ペットボトルキャップを回収することによって、世界の国々の状況や実態について、興味・関心をもつことができた。 ・ 環境コーナーに、活動の様子を掲示したり、電気・水の使用量をグラフ化したりすることで、環境や節電・節水に対する意識が高まり、実践化することができた。 				

次期計画への課題・問題点

- ・ペットボトルキャップだけでなく、様々な資源ごみのリサイクルに努めたい。
- ・環境問題について、保護者や地域の方々へ、啓発を図りたい。

※ 環境学習・環境保全等の活動内容写真



なると環境スクール活動報告書

学校(園)名		鳴門市大津西小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
ごみの分別	燃えるごみ・燃えないごみ等のごみ箱を整備し、ごみの分別の意欲を高める継続した。	常時	全学年	
節電・節水	数値をグラフ化し児童の目につくところに掲示した。	常時	全学年	
希少種「カワバタモロコ」の飼育	環境保全活動の一環として、絶滅危惧種カワバタモロコの飼育を継続した。	常時	全学年	
野菜の苗の植え付け	園芸店に野菜の苗植え方を指導していただき、学級園で栽培を行った。	5月	2年	
奉仕作業	親子で環境美化奉仕作業を行った。	6月8月	全学年 PTA	
資源ごみ回収		6月 12月	全学年 地域住民	
「生き物調査」に関するお話	地域にも呼びかけ新聞紙・段ボールなどを集めておき、業者に回収を依頼した。 県農林水産課と徳島大学の講師により鳴門市に 関係する絶滅危惧種の生き物に関するお話を聞いた。	6月	5・6年	
サツマイモの苗の植付けと収穫	保護者の協力を得て、サツマイモの植え付けから収穫までの栽培活動を全校で実施した。	6月9月	全学年	
プール掃除	排水時には事前にEM液を活用し、できるだけきれいな水を流すようにした。	7月	5・6年	
校内の池の魚を確認	高学年で池の掃除、低学年が魚の実態把握。 	6月 7月	1・2年	
梨の選果の見学	J A 大津松茂で梨の選果の見学と梨の収穫。	9月	3年	
クリーンセンター及び四国電力見学	環境に関する施設を見学することでゴミ処理やクリーンエネルギーについて学習した。		4年	

		10月 11月		
--	--	------------	--	--

成 果

- ・環境委員会が活動の主となり、朝会や委員会活動の時間に、ごみの分別、減量化やリサイクル、節電・節水を呼びかけることで環境改善に関する意識が児童にも職員にも徐々に高まってきている。
- ・資源ゴミ回収時に、学校だけでなく地域にも呼びかけて、たくさんの資源ゴミを回収することができ、本年度も継続して協力を得られた。
- ・校内の子どもたちのよく通る壁面に、電気・水道の使用量グラフを掲示することで、大切に使うことへの意識をもたせることができた。
- ・絶滅危惧（きぐ）指定を受ける希少種カワバタモロコの飼育をしたり、地域の自然観察をしたりすることで、地元の自然の素晴らしさに気づき、児童の環境保全に対する意識を高めることができた。
- ・学級や栽培委員会の活動により草花の栽培を行い、積極的に学校を美しくしようとする気持ちが高まってきた。
- ・地域や保護者と協力して、栽培学習などを行えた。

次期計画への課題・問題点

- ・教職員も児童も環境に対する意識をさらに高めることができるように、必要の無い電気を消すとか水道の蛇口をしっかりとしめる等の小さな工夫を続けていくことが今後必要である。
- ・校内の環境の一部として玄関前の池を児童が改善している途中である。ビオトープとして校内で環境教育に活用できるように次年度も少しずつ清掃等の活動を続ける。
- ・新聞広告や保護者宛の手紙で資源ゴミ回収をよびかけているが、今後もホームページも活用して環境教育に関する取組について地域へ呼びかけていく努力を継続することが大切である。

鳴門市堀江北小学校

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市堀江北小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
○ 行動方針の説明	○ 今年度の行動方針を児童朝会で全児童に発表した。	5月	全校	環境委員会
	○ 行動方針を児童玄関に掲示した。	5月	全校	環境委員会
○ 節電・節水	○ 電気と水の使用量をグラフ化し、全児童の目につくところへ掲示している。	4月	全校	環境委員会
	○ エコ活動を呼びかける標語を作成し、校舎内に表示したり、朝会で全校児童に節電節水をよびかけた。	5月	全校	環境委員会
○ 校内・地域における環境教育・啓発	○ 古紙利用・段ボール回収を行った。	通年	全校 地域	環境委員会
	○ 鳴門市クリーンセンターを見学し、ゴミの焼却やりサイクルについての学習を行った。	5月	4年	バス遠足
	○ グリーンカーテンを作り、節電への関心・意識を高めた。	5月～ 11月	全校	環境委員会
	○ 学校で育てたゴーヤの苗を希望する家庭に配布し、節電への関心・意欲を高めた。	6月	保護者	環境委員会
	○ 牛乳パックを再利用して、鉛筆立てを制作した。	9月	4, 5, 6年	ものづくり クラブ
	○ CO2CO2(コツコツ)コンテストに参加。	11月	全校	環境委員会
	○ 児童玄関にある分別箱の整理整頓を行う。	通年	全校	環境委員会

成 果

- 学校全体で取り組むことにより、児童や教職員の節水・節電・ゴミの分別等に対する意識が高まった。
- 環境保全活動に向けた様々な取り組みを通して、児童の環境保全に対する意識が高まってきた。
- 学校だよりや苗の配布、校内掲示、学校HPを通して、学校での環境 ISO の活動の様子を保護者や地域の人に伝えることができた。

次期計画への課題・問題点

- ホームページや学校便りなどを使いさらに情報を発信し、学校での環境 ISO の活動をより多くの人に広めていきたい。
- 「蛍のすむ豊かな自然を守るために、環境にやさしい学校づくりをめざして！」のテーマにせまる活動になるように工夫していきたい。
- 鳴門市における「なると環境スクール」の取り組みと「新 学校版環境 ISO」との取り組みを連動させ、より充実した取り組みになるよう計画していきたい。

平成28年度 「なると環境スクール」における活動

環境目標・テーマ

虫のすむ豊かな自然を守るために、環境にやさしい学校づくりをめざして！

- 1 「節電」「節水」「リサイクル」に積極的に取り組む児童の育成
- 2 地域とともに環境美化・保全に取り組む児童の育成
- 3 地域の環境保全活動から学び、環境問題に関心を持ち、地域を愛する心豊かな児童の育成

○取り組み



「節電・節水の呼びかけ」



「グリーンカーテン作り」



「クリーンセンターの見学」



「EM を使用してのプール清掃」



「牛乳パックのリサイクル」



「環境標語の掲示」



「段ボール回収」



「保護者へのゴーヤ苗の配布」

鳴門市堀江南小学校

なると環境スクール活動報告書

学校名		鳴門市堀江南小学校		
活動実績				
項目	実施内容	実施時期	対象	備考
・活動テーマの掲示	・活動テーマを廊下に掲示する。	通年	全学年 職員	
・活動内容の掲示	・高学年が委員会で行っている内容を写真等で掲示し、低学年にも内容が理解できるようにする。	通年	全学年 職員	
・ごみのリサイクル	・ミスプリントやポスターの裏を再利用している。	通年	全学年 職員	
・節電・節水	・使っていない教室やトイレの照明器具をこまめに消したり、水道の蛇口を閉める。	通年	全学年 職員	
・愛校タイム	・隔週火曜日、縦割班で校内の美化作業を行う。	通年	全学年 職員	
・クリーンセンターの見学	・ゴミ処理について話を聞いたり、見学したりする。	5月	4年	
・プールの清掃	・EMを利用してプールの清掃を行う。	6月	4～6年	
・浄水場の見学	・市民が安心して飲める水を作る仕事について学ぶ。	7月	4年	
・愛校作業	・職員及び保護者で校内の美化作業を行う。	8月	全職員 保護者	

成 果
<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別やリサイクル、節電・節水などこれまでの取り組みが子ども・職員共に定着してきている。 ・1年間を通して、縦割り班活動で愛校作業を実施しており、子どもたちも積極的に参加することで美化意識も高まっている。 ・PTA を交えた愛校作業では、多くの保護者と教職員が協力し、学校の美化作業を実施できた。行事前ということもあり、目的意識も高まった。 ・今年度は遠足も校外活動を活用して行った資源ゴミ回収の体験やリサイクルセンターの見学を通して、学校だけでなく、家庭でも環境について話し合う回数が増えた。

次期計画への課題・問題点

- ・学校内の誰もいない場所の電気は消えていることが多くなってきたが、家庭では意識が薄い子どもも多く、家庭でも環境への意識ももてるように呼びかける。
- ・学校から家庭や地域への発信の方法を工夫し、子どもたちの生活全体で環境保全のための行動が定着するようにしたい。
- ・職員会で節電や節水を呼びかけ、掲示物でも視覚的に意識できるように工夫し、教職員の節電・節水及びミスプリントの紙や古封筒の再利用に関する意識をさらに向上させたい。

鳴門市板東小学校

なると環境スクール活動報告書

学校（園）名		鳴門市板東小学校		
活 動 実 績				
項目	実施内容	時期	対象	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミのリサイクル ・ プール清掃 ・ 全校美化活動 ・ 地球温暖化についての学習 ・ ペットボトルのふたのリサイクル ・ 節電・節水 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの分別を徹底する。 ・ EM活性液を使ってプール掃除を行った。 	通年 6月	全校 5・6年	整美委員会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月第1水曜日にスマイル班で校庭の美化作業を実施した。 	通年	全校	整美委員会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化のしくみや原因、防止策について学習し、リサイクルの大切さについて気づき、環境保護をしようとする意識が向上した。 	11月	5年	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットボトルの回収を全校に呼びかけ、ごみの減量化とリサイクルに生かした。 	通年	全校	ボランティア委員会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廊下等にポスターを掲示したり、全校朝会や各学級での帰りの会で児童に呼びかけたりした。 	通年	全校	
成 果				
<p>○なると環境スクールに全校で取り組むことによって、児童教職員ともに環境についての知識を高め、自然環境を意識するよい機会となった。</p> <p>○「学校を美しくする」ことや「資源を大切にしたい」という考え方ができ、主体的に取り組むことができるようになった。</p>				
次期計画への課題・問題点				
<p>○「クリーンでグリーンな板東（楽園）」というテーマを学校全体に広めてきた。その結果、児童も職員も自然環境について意識しながら取り組んでいくことができた。</p> <p>○毎月の電気代金や水道代金を目で見分ける形としてグラフに表したり、児童や教職員に提示したりすることが難しかったので、節電や節水について、具体的な数値目標を明確にするなどの工夫をしていきたい。</p> <p>○学校で学んだことを、学校の中だけでなく、児童が家庭や地域で生かすことのできるようにしていきたい。また、そのような機会を学校の教育活動で計画していきたい。</p>				

EM ぼかしを使ってのプール清掃（5、6年）



全校美化活動



エコみらいとくしま出前授業（5年）



ペットボトルのふたリサイクル活動

